

# 東西問答

芥川龍之介

青空文庫



問<sup>とひ</sup> 現代の作家に就いて、比較上の問題ですが、東洋種と西洋種

とに區別したら如何<sup>いかが</sup>なものでせうか。

答<sup>こたへ</sup> それは東洋種と西洋種とに分けられるかも知れない。けれど

も多少の西洋種を交<sup>まじ</sup>へて居ないものは殆<sup>ほと</sup>んどないと云つてもい

いだらう。たとへば久保田万太郎君などは、純日本種の作家の

やうに思はれて居るが、久保田君の小説には、プロロオグと横

文字に題を書いたのがある。勿論作品そのものの中にも、多分

に三田<sup>みた</sup>文学流の西洋種を交へて居る。先づ比較的西洋種を交へ

ない作家と云へば、徳田<sup>とくた</sup>秋声<sup>しゅうせい</sup>氏位のものだらうと思ふ。

問 葛西<sup>かさい</sup>善蔵<sup>ぜんざう</sup>氏はどうですか。

答 葛西善蔵氏も、西洋種の交りまじは少いと思ふ。

問 それでは、東洋種の作家の作品の要素をお伺ひしたいのです。

答 それは難問だね。ここに云ふ東洋種と云ふ意味は、西洋種の

まじ交つて居ないと云ふ事だ。即ち消極的に云つたものに過ぎない。

それを積極的はどう云ふ特色のあるものが、東洋種になるかと

云ふ事になると、三考も四考もしなければならぬ。それはお

互ひに面倒だし、まあ見合わせる事にしよう。ただ徳田秋声氏や

葛西善蔵氏の作品には、官能的にも思想的にも、西洋人にかぶ

れたと云ふ痕跡こんせきが少い。それ丈だけは安全に云ひ得られるかと

思ふ。

×

問 風流ふうりゅうに就いて御意見ごいを。

答 風流と云ふ事をどう解釈するかは、文人墨客ぶんじんぼくかくの風流は、

先づ日永ひながの遊戯である。南画南画と云ふけれど、二三の天才を

のぞいた外ほかは、大部分下らないものと云つて差支さしつかへない。僕

はああ云ふ風流を弄もてあそびたくない。僕の尊敬する東洋趣味は、

(前の東洋種と混合してはいけない) 人麻呂ひとまろの歌を生み、玉ぎよく

腕ゑんの蘭を生み、芭蕉ばせをの句を生んだ精神である。煎茶せんちやの宗さうし

匠やうや、漢詩人などの東洋趣味と、一いつしよ緒しよにされて堪るもので

はない。

問 佐藤春夫氏は風流を感覚だと云ひ、さとうはるを久米正雄氏はそれを意志くめまさを

だと云つて居ますが、それに就ついてのお考は如何いかでせうか。

答 それは感覚と云ふ言葉の意味や、意志と云ふ言葉の意味を、

はつきり制限して貰はないと、僕にはどちらにも左袒さたん出来ない。

あらゆる芸術は感覚的である。同時に又あらゆる芸術は、意志的である。だから、風流は意志だと云ふ説も、ある意味では成立つと同時に、風流は感覚だと云ふ説も、矢張りある意味ではなりたつだらう。僕はまだ両氏の議論を読んで居ゐない。両氏ほどの位感覚と意志とを別のものにして、論ずる事が出来たかそれを見る時を楽しみにして居る。

問 行為を主としたものと、心境を主としたものとの差別が文芸

上には、ありませんでせうか。

答 主として事件を書いたものと、主として心境を書いたものの差別は、あると思ふ。

問 それで、事件を主としたものが西洋的に、心境を主としたものが東洋的と云へるでせうか。

答 すゝめ水滸伝でも、やり槍の権三でも、皆事件を主にして居る。しかし矢張やはり東洋的である。ゲエテの「さ迷へる人の歌」のやうなものは、心境を主として居る。しかし矢張り西洋的である。心境と事件とか云ふやうなものでは、東洋と西洋の区別を、大ざつぱにさへ出来ないと思ふ。要するにその作者次第だと思ふ。

×

問 将来の日本の文芸はどうなるでせうか。西洋的になるでせうか。又東洋的になるでせうか。

答 それはどつちになるかわからない。しかしこれだけは確實である。若し将来、西洋人が日本の文芸を珍ちんちよう重ちゆうするとすれば、

東洋的の文芸を珍重するだらう。例へば、形容の言葉にしても、

「孔雀くじやくのやうに傲慢がうまんな女」と云ふのは日本人には新しい感

じを与へても、西洋人には新しい感じを与へない。逆に「瓜うりぎ

実顔ねがほの女」と云ふのは、日本人には珍しくないが、西洋人に

は珍しいだらう。一つの形容の言葉に就ついて云はれる事は、作

品全体に就いても云はれる事である。

(大正十五年五月)

[談話]



# 青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>)

で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

# 東西問答

芥川龍之介

2020年 7月13日 初版

## 奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>